

通 告 質 問 一 覧 表

(平成31年3月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	9	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 災害・防災対策について</p> <p>(1) 河川監視カメラについて</p> <p>① 設置場所はどこか</p> <p>② 映像はいつでも誰でも見ることができるのか</p> <p>③ 防災・減災に向けてカメラの映像をどのように活用するのか</p> <p>(2) ケーブルテレビネットワーク光化促進事業について</p> <p>① 指定避難所や消防団詰所、幼稚園や保育園、小・中学校、高校で、災害時の情報収集や伝達手段としてケーブルテレビが視聴できる環境を整備すべきではないか</p> <p>(3) 上下水道施設浸水対策事業について</p> <p>① 平成30年7月豪雨災害により断水した全ての地域の水源に、浸水対策を行うべきではないか</p> <p>(4) 防災ラジオ整備事業について</p> <p>① 地域の集会所など一次避難所となる施設や、災害対応の拠点となる消防団器庫にも防災ラジオを設置できないか</p> <p>2 消費税増税について</p> <p>(1) 景気対策としてプレミアム付き商品券が発行されるが、以前の商品券との違いはどのようなものか</p> <p>① 商品券の発行や引きかえはどのようにになるのか</p> <p>② 対象者をどのように把握し、確認するのか</p> <p>③ 商品券が使える店舗は、どのように選定するのか</p> <p>④ 事務作業が煩雑になると考えるが、対応可能なのか</p> <p>(2) キャッシュレスによるポイント還元が行われるが、個人経営の商店ではレジの切りかえやカード会社との契約など、初期投資やランニングコストが必要となり廃業する所もあると聞く。負担軽減について市としての対策が必要ではないか</p> <p>3 幼児教育の無償化について</p> <p>(1) 無償化の財源は、初年度は国が全額負担するとあるが、2年目以降はどうなるのか</p> <p>① 市の負担額はどれくらいか</p> <p>② 国の方針で無償化するのであるから、無償化の経費は国が全負担するよう国へ要望すべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	9	11 番 宮 田 好 夫	<p>(2) 無償化により利用者の増加が考えられる。設備や人員の準備が必要ではないか</p> <p>4 町内会支援事業について</p> <p>(1) 平成 31 年度当初予算が前年度に比べ大きく減額されているが、理由は何か</p> <p>5 地域公共交通網形成計画について</p> <p>(1) 新しい計画の策定はどのように行うのか</p> <p>(2) 市民の移動手段の確保や公共交通空白地域の解消は自治体の責務である。費用対効果の観念を捨てて考えるべきと思うがどうか</p>
2	10	9 番 石 井 聡 美	<p>1 S T E A M 教育について</p> <p>(1) 新学習指導要領への対応について問う</p> <p>(2) リカレント教育の中での S T E A M 教育の推進について問う</p> <p>2 ペットについて</p> <p>(1) 高齢者のペット飼育について、町内会支援制度などを使って周囲がサポートしやすい体制を整えるべきではないか</p> <p>(2) 平時のペットとの付き合い方や、災害時の取り扱い、飼えなくなった時の対応などを定めたペット条例をつくるべきではないか</p> <p>(3) 市街地にペットと気軽に遊べるドッグランを整備すべきではないか</p>
3	5	12 番 森 田 仲 一	<p>1 遊休公共施設及び公共財産の有効活用について</p> <p>(1) 活用されていない遊休施設の見直し（活用と廃止）に向け、行財政改革の一環で検討されていたが、その後の検討は怎么样了のか</p> <p>(2) 平成 30 年 7 月豪雨災害以降、災害復旧・復興を最重要課題と捉え、全ての事業を見直す中で、新年度予算の編成に努めてきたとは思いますが、今後の財政健全化、市民要望に応えるために、遊休状態となっている土地及び公共施設の利活用を早急に検討し、独自財源の確保に努めるべきと考えるがどうか</p> <p>(3) この際、市有財産である林野及び雑種地等の活用を検討するべきと考えるがどうか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	5	12 番 森 田 仲 一	<p>2 農業振興について</p> <p>(1) 農家の高齢化や後継者不足、それに追い打ちをかける有害鳥獣被害により農地の荒廃が進む中、小規模農家の多い高梁市において、農業の振興策を今後どのように考えているのか</p> <p>(2) 耕種農業においては、JAびほく、県の農業普及指導センター及び市の農業施策の中で、トマト、ピオーネを中心とする生産団体育成の成果により、県下においても有数の産地となっている。一方それにも参画できない小規模農家においては、今後の見通しが全く立たない現状にある。このような小規模農家の今後について、どのような振興策を考えるのか</p> <p>(3) 市内においては、小規模農家及び生産団体等が農産物の生産、加工、販売までを一貫して行う6次産業化に向けた活動が進んでいると実感している。こうした活動を進めることは高梁市の農業施策の大きな柱として推進すべきと考えるが、市としての考え方を問う</p> <p>(4) 有害鳥獣被害がますます増加している。以前も数度にわたり要望してきたが、有害鳥獣被害対策として猪・鹿等の獣肉加工施設を市が主導で設置すべきと考えるが、再度市の考えを問う</p>
4	2	6 番 黒 川 康 司	<p>1 養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園整備に伴う旧施設の跡地活用について</p> <p>(1) 養護老人ホーム成羽長寿園・成羽こども園の整備に伴う旧施設の跡地について、基本的には売却の方向で進めると担当課より説明を受けたが、特に下原地区にある旧鶴鳴保育園跡については、以前から公園として整備してほしいという地元意見があったと思う。再度検討する余地はあるのか</p> <p>(2) 旧鶴鳴保育園の駐車場として活用していた場所には、戦後間もない昭和28年、児島虎次郎の郷土である旧成羽町に、当時まだ全国的に類を見ない公立美術館が先人たちの労苦により建設された。そして今の成羽美術館に引き継がれていると思う。平成24年度に老朽化や保育園の駐車場確保のため解体されたが、先人たちの労苦を忘れることなくその歴史を次の世代へつないでいくために、顕彰碑の形で残すべきだと思うが、市の見解を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	2	6 番 黒 川 康 司	<p>2 地域公共交通について</p> <p>(1) 平成27年3月に策定された「高梁市地域公共交通網形成計画」は、平成31年度までの5カ年計画であり、その目標の1つである交通空白地域の解消については、現段階でどれくらい解消しているのか。また、計画期間では解決できない課題も残ると思われるが、平成32年度以降の計画を策定するのか</p> <p>(2) 今後、将来人口の減少に伴い、公共交通利用者も減少すると予測され、また財政的にも厳しい状況が続くと思うが、どのような方向性で計画していくのか</p>
5	4	2 番 森 和 之	<p>1 市街地の浸水被害について</p> <p>(1) 平成30年7月豪雨によって市街地も浸水被害があった。原因は内水による浸水であると考えますが、今後どのように改善するのか</p> <p>2 防災マップについて</p> <p>(1) 防災マップが非常に見づらい。見直しの際には、浸水災害危険箇所と土砂災害危険箇所は別々に記載するなど、わかりやすい内容にすべきではないか</p> <p>3 防災ラジオについて</p> <p>(1) 市街地の普及率はどのくらいか</p> <p>(2) 普及率の低さをどう捉えているのか、今後どうするのか</p> <p>4 山田方谷記念館について</p> <p>(1) 今後どのように運営していくのか</p> <p>(2) 市内に眠る（個人所有の）方谷関係の資料を展示するなど、内容の充実を図るべきではないか</p> <p>5 市街地のこども園について</p> <p>(1) 設置に向けて検討段階であると聞いているが、現在までの検討状況は</p> <p>(2) 成羽こども園も整備された中で、市街地へのこども園設置を早急に進めるべきではないか</p> <p>6 ヒルクライムチャレンジシリーズについて</p> <p>(1) 新年度予算編成に開催のための予算が計上されている。平成30年7月豪雨災害により今年度は中止となり、平成31年度も開催できるか疑問視する声もあるが、開催に向けてどのように考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	8	5 番 三 村 靖 行	<p>1 河川堆積土しゅんせつ事業について</p> <p>(1) 県にしゅんせつ事業の要望はしているのか。今後の動きはどうなっているのか</p> <p>(2) これから本格的に長期間かけてしゅんせつ事業が行われるはずだが、近くに堆積土の処分地が見当たらず事業の進行が遅延するのではないかと危惧する。事業の早期完了を目指すのであれば、土地改良事業の圃場整備事業とタイアップして近くの農地を堆積土の処分地として活用してはどうか</p> <p>2 中井簡易水道について</p> <p>(1) 水質基準は満たしているのか。その数値を問う</p> <p>(2) 中井町地区は石灰岩の土質が分布し、水道施設の水源もその中にあり石灰分も多く含まれており、中井町全体でここ5、6年各家庭の水道機器や設備で石灰分による不具合が発生し、故障、修理、買いかえを余儀なくされ、困っていると聞いている。市はこの対策にどのように取り組んで行くのか</p>
7	6	3 番 平 松 賢 司	<p>1 小規模・家族農業を大切にする農業振興について</p> <p>(1) 本市のような中山間地域の農業は、小規模・家族経営体を守る事が大切だと考えるが、市の認識を問う</p> <p>(2) 小規模・家族農業を守り活性化させるために、今後新たに小規模・家族農業推進協議会（仮称）を設置して、実効ある施策を打ち出すべきではないか</p> <p>(3) 市が独自に農産物の所得補償制度を創設すべきではないか</p>
8	11	1 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 市政の見える化について</p> <p>(1) 地域からの意見や要望に対する市の対応等について、市民にわかりやすく伝えるべきではないか</p> <p>(2) 今回の平成30年7月豪雨災害を受けて、国、県、その他団体と防災・減災に向けた協議、要望活動を行っていると思うが、活動内容やその後の国、県、その他団体の対応の情報について市民にわかりやすく伝えるべきではないか</p> <p>(3) 公共施設災害の復旧状況について、例えば発注や完成時期はいつかなどを具体的に市民にお知らせすべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	11	1 番 伊 藤 泰 樹	<p>(4) 市政情報をお知らせするために市のホームページが開設されているが、わかりにくかったり操作が複雑な部分がある。市民と行政が建設的に意見交換できるホームページに刷新はできないか</p> <p>2 災害廃棄物の処理の現状と今後について</p> <p>(1) 高梁市災害廃棄物処理実行計画について</p> <p>① 損壊家屋等の解体・撤去で発生する解体廃棄物の現状と課題について問う</p> <p>② ききょう緑地グラウンドの仮置き場の閉鎖はいつごろになるのか</p> <p>③ 災害廃棄物処理実行計画の見直しについて、適宜改定するとしているが、改定の考え方を問う</p> <p>(2) 高梁地域事務組合クリーンセンターの場所等について、構成団体として将来的なビジョンはあるのか</p> <p>3 有害鳥獣被害防止対策事業の現状と課題について</p> <p>(1) 有害鳥獣対策室の取り組みと成果について</p> <p>(2) 将来を見据えた高梁市の有害鳥獣対策のあり方について</p> <p>4 「夢のある教育を」について</p> <p>(1) 高梁市教育大綱について</p> <p>① 4年間の評価と具体的な取り組みについて</p> <p>② 教員の質の向上に向けた取り組みについて</p> <p>(2) コミュニティ・スクール導入の目的について</p> <p>(3) 市として青少年健全育成につながる表彰制度の拡充はできないか</p>
9	1	16 番 川 上 博 司	<p>1 SDG s について</p> <p>(1) SDG s（持続可能な開発目標）に対して市長はどのような認識を持たれているのか</p> <p>(2) SDG s を理念とした市政運営に取り組むべきではないか</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化について</p> <p>(1) 実施後に保護者の混乱が生じないように、早目の丁寧な制度説明などの対応が必要ではないか</p> <p>(2) 保育園への入所がふえると思われるが、対象児が全て入所を希望した場合に受け入れは可能なのか</p> <p>3 上水道施設と簡易水道施設の浸水対策について</p> <p>(1) 来年度から実施されるとのことだが、今後の計画はどうなっているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	3	8 番 石 部 誠	<p>1 平成 30 年 7 月豪雨災害はなぜ防げなかったのか</p> <p>(1) 平成 30 年 7 月豪雨災害の原因は、大きく「ダム放流のあり方」「過疎高齢化により、山林・農地・宅地の荒廃や、道路や水路が管理できなくなったことによる土砂災害」「現在ある防災計画や災害時の対応が現実には即せず被害が大きくなったこと」の 3 点があると考え。市は原因についてどのように考えているのか</p> <p>(2) この災害の被害は本当に防ぐことができなかったのか</p> <p>(3) 復興計画の策定は、地域と市民参加で行うべきと考えるがいかがか</p> <p>2 消費税増税が市民に及ぼす影響と対策について</p> <p>(1) 本年 10 月に予定されている消費税増税により、市は市民生活がどのように変わると認識しているか。また、その対策は立てているのか</p> <p>(2) 国民健康保険税、上下水道料金、学校給食費、各種利用料、窓口の各種手数料などについて、市民負担がふえないように求める</p> <p>3 税金の差し押さえについて</p> <p>(1) 税金徴収において、病気をかかえる年金生活の方が、過去の税金滞納について市と約束したとおりに支払いを行っていたが、生命保険の差し押さえが行われた事例があった。過度の取り立ては、恐怖感を与え生活を脅かすもので問題があると考え、市民に寄り添った対応を求める</p> <p>4 高梁市図書館について</p> <p>(1) 高梁市図書館が開館して 2 年が経過したが、運営計画に基づいてできたこと、できなかったことは何か</p> <p>(2) 指定管理の契約期間が折り返しを迎えるが、今後の課題は何か</p> <p>(3) 高梁市図書館の指定管理者は、自社が事業展開している T カードの会員情報を捜査当局に任意提供していたが、個人情報の取り扱いとして問題があると考え。図書館の個人情報の取り扱いを市はどのように考えているのか</p>
11	7	4 番 森 上 昌 生	<p>1 平成 30 年 7 月豪雨災害における成羽町新張地区の浸水被害について</p> <p>(1) 新張地区の排水ポンプの不具合について、原因究明はなされたのか</p> <p>(2) 現在排水ポンプの更新整備が進められているが、改善される点はどのようなものか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	7	4番 森 上 昌 生	<p>(3) 整備される排水ポンプの排水能力は現在のものと同等と聞いているが、どの程度の出水に対処できるのか</p> <p>(4) 平成30年7月豪雨災害と同程度の出水量に対処するのに、整備されるポンプの能力で対応できるのか</p> <p>(5) 今回排水ポンプの不具合によって出水に対処できなかったが、その際に地域住民に対してこの状況の伝達が不十分であったと聞いている。市はこうした危機管理の見直しや、職員の指導にどのように取り組んでいくのか</p> <p>2 個人情報の取り扱いについて</p> <p>(1) 市は個人情報をどのように定義しているのか</p> <p>(2) 市の個人情報の取り扱いはどのようになっているのか</p> <p>(3) 先般、CCCにおけるTカードの個人情報が、捜査当局の要請で任意提供されていたが、このことに市はどのような見解を持つのか</p> <p>(4) 2012年にCCCはカード利用者に告知せずに利用者情報の運用に関する方針転換を行っているが、こうした運用の方法を市はどう考えるのか</p> <p>3 駅前複合施設完成後の市民生活への各種効果の検証について</p> <p>(1) 駅前複合施設がオープンして2年が経過したが、市に対する経済的、市民生活の利便性、教育的な効果は検証しているのか</p> <p>(2) 以前に確認したところでは、複合施設内の高梁市図書館利用者と単に複合施設を利用する者とを区別して集計していないとのことであるが、現在も区別して集計していないのか</p> <p>(3) この2年間で、栄町周辺を含めた駅前地域の人の流れの変化を検証しているのか</p>